

OPEN SOUND DATA 第三弾 キハ40v1.3

操作説明書

2019/3/17

1. はじめに

本書は MB3110A 氏と栃木総合車両所氏の協力により作成され、OPEN SOUND DATA として公開するに至ったキハ40向けDCCサウンドデータです。一般向けのサウンドデータの説明書となります。より実操作に忠実なバージョンである「実操作版」が用意されています。一般向けでは物足りない方は実操作版ご利用ください。ファンクション操作が複雑となりますが、より本物に近い運転をお楽しみ頂けます。



2. 対応機種

ESU 社 LokSound V4, V4 micro, 5, 5 micro

※LokSound Select には使用できません。

3. 著作・連絡先

本データの著作権は以下の制作者が有します。

- ・MB3110A
- ・栃木総合車両所(快速いでゆ)

詳細は OPEN SOUND DATA のホームページを参照して下さい。

<https://desktopstation.net/sounds/>



4. ファンクション一覧

F0	ヘッドライト・テールライト	
F1	機関始動	※後述する操作手順有り
F2	警笛	
F3	*****	
F4	ATS	※後述する操作手順有り
F5	非常制動	強制停車後 50 秒間は起動不可能。(ブレーキ管再充填までのロスタイムとして)
F6	Heavy Load	スロットル保ち
F7	音量	
F8	レールジョイント	
F10	フランジ	
F11	Shift (停車時)	
F12	開扉→乗降促進→閉扉	
F13	停車時ブレーキ試験	
F14	Shift (走行時)	変直切換可能速度域で ON→OFF することにより変速段→直結段へ切換
F15	開扉→ベル 1 →閉扉	
F16	開扉→ベル 2 →閉扉	
F17	強制閉扉 (トリガー)	

F3 : 未使用

F9 : 未使用

5. 詳細な操作方法

5.1. F1 機関始動

【F1=ON】でノーマルスタート

* F11+F1 でコールドスタート(機関予熱後の始動)

コールドスタート手順

【F11=ON】の後【F1=ON】で ATS 投入音が鳴動します。次に【F1=ON→OFF】を繰り返して機関予熱操作を 3 回行います。

- ①【F1=ON→(予熱リレー音)→30 秒後→OFF(予熱リレー開放音)】→10 秒休み
- ②【F1=ON→(予熱リレー音)→30 秒後→OFF(予熱リレー開放音)】→10 秒休み
- ③【F1=ON→(予熱リレー音)→30 秒後→OFF(予熱リレー開放音)】→10 秒休み

最後にもう一度【F1=ON】で機関始動。

直後に機関機能試験(空ぶかし)に入り、終了後に走行可能となります。

(エンジン始動前に【F1=OFF】することにより始動失敗。予熱からやり直し。)

*****実車での予熱リレー操作間隔は一回約30秒を3回です*****

* 機関停止【F11=OFF】→【F1=OFF】

機関停止するには先に F11 が OFF になっている事を確認してから F1 を OFF して下さい。

*** F11 が ON のままですと機能試験モードに入りエンジンが停止しません**

5.2. F4 ATS・ATS 確認

走行中：

【F4=ON】で ATS 警報鳴動、5 秒以内に警報音が ATS 確認音に変わります。停車後数秒で自動復帰して ATS 確認音が鳴りやみます。

* ATS 確認音は「確認操作後」にスロットルを 230 以上に上げれば強制解除できます。

停車中：

【F4=ON→OFF】で ATS 投入音

5.3. F11 Shift（停車時）

機関予熱/乗換スイッチ操作/機関機能試験

機関予熱：F1 参照

機関機能試験：停車時の空ぶかしに使用。【F11 + F6】で機能試験(空ぶかし)

【F6=ON】を保持するとフルスロットル持続。【F6=OFF】に戻して復位

6. 注意事項・その他

非常ブレーキを動作させるとスロットル位置に関係なく自動的に停車となりますが、スロットルは速やかに0に戻してください。

*50 秒の起動不能時間は停車後【F5=OFF】 + スロットルを一旦 0 に戻した時から開始します。

以上